

2026年
9月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

衛研インスタ
フォローをお願いします



今月の感染症流行状況

注意

今後流行の可能性がある

流行中

大流行

疾患名	流行状況	説明
インフルエンザ	流行中	幅広い年齢層で患者数の増加が続く 夏休み明け直後から複数の学級閉鎖の報告あり
腸管出血性大腸菌 感染症	注意 !	気温が高くなる時期に患者数が増加する傾向 こまめな手洗いなど、しっかりと感染予防を
梅毒をはじめとした 性感染症	注意 !	不特定多数との性行為は感染のリスクが高い 症状がなくとも、人に感染させる可能性あり

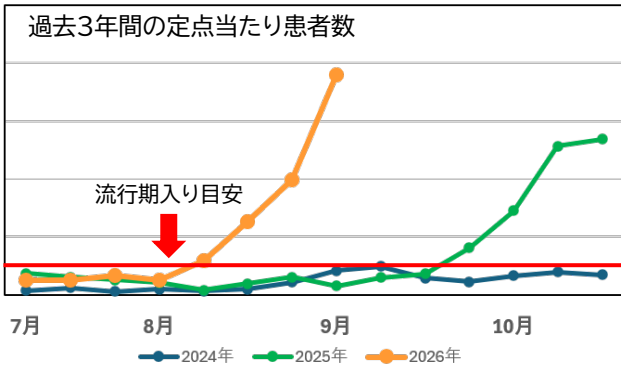
今月のトピック

インフルエンザ

昨年より1か月半ほど早い流行期入り

01 定点当たり患者数の推移

※毎週決まった医療機関から報告される患者数の平均値



02 罹患の可能性がある時の注意点

- 人混みへの外出を控え、十分に休養をとみましょう。
- 高熱が続く、息が苦しい、意識状態がいつもと違うなどの場合は早めに受診をしましょう。
- 乳幼児、高齢者、妊婦、免疫力の低下・基礎疾患のある方は早めに受診をしましょう。

03 予防方法

観光地やイベント会場など、人の大勢集まる場所では、特にしっかりと対策をしましょう



流水と石けんで
手洗い



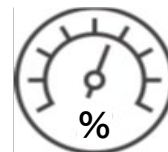
咳エチケット



換気
窓は2か所開ける



十分な休養



室内の湿度
50～60%

インフルエンザワクチンの接種は計画的に

横浜市感染症情報センター9月15日発行

横浜メディカル
ダッシュボード

